



# こめのやま

2021年5月1日

No.103

発行責任者/内田 雅仁

2021年度 社会医療法人 親仁会 入社式



## 2021年度 米の山病院新入職員です よろしくお願ひします

### 新入職員挨拶

● 研修医 本田 優祐

こんにちは。4月より、米の山病院にて研修医として働かせていただいております。本田優祐（ほんだゆうすけ）と申します。長崎県長崎市で生まれ育ち、医師である父の背中から憧れて、医学部へ進学、第115回医師国家試験に合格し、晴れて研修医となりました。私の好きな言葉で「遠回りこそ一番の近道」という野球のイチロー選手の言葉があります。どんなに困難でも、患者さんに寄り添い、患者さんの為に尽力できる医師を目指して頑張ります！

● 看護師 黒木 鉄也

私は社会人を経験した後、看護師への道を目指しました。看護学校での5年間は大変でしたが、これからの人生の糧となると思っています。国家試験合格の時、喜びと共に看護師として働く事への不安もあったことを覚えています。入職後の研修では看護師としての自覚を持つ良い刺激となり、今では不安よりも期待感を抱いています。夢は叶いましたが、これからも自分の目指す看護師像に近づけるよう今まで支えてくれた周りへの感謝の気持ちを忘れず、自己研鑽し続け成長していきたいと思ひます。

● リハビリテーション科 吉川 栞

米の山病院・リハビリテーション科に配属となりました。新しい環境で慣れないことも多く、とても緊張していますが、患者様を心身ともに支え、患者様一人ひとりに合った医療を提供できるよう、日々精進していきたいと考えています。未熟者ではありますが、諸先輩方を見習い、1日も早く戦力になれるよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

社会医療法人 親仁会

米の山病院



日本医療機能評価機構認定病院  
臨床研修指定病院

# 3.11原発事故から10年、原発ゼロと福島のことを考える

福島第一原発事故から3月で10年が経ちました。米の山病院では、東日本大震災と原発事故を受け、命と健康、環境を脅かす原発のない社会を目指して、事故から10年の節目に、福島の現状を学び考えるために、原発ゼロについて学ぶオンライン集会を開催しました。

## 感想①

検査科 坂井 千晴

福島原発事故から10年経った今でも住民の方々は以前のように暮らせていないということが現場の声を聴いてよくわかりました。原発事故がおこることで、様々な問題が発生しますが、中でも人と人とのつながりや大切な故郷と離れなければいけなくなるのはとてもつらいと思いました。

国からの補償問題や放射線による被ばく、風評被害に加え心身の障害や生活変化によるストレスなど、あらゆる分野の課題が多く残る現在、これからは国主体の復興を住民に押し付けるのではなく、住民主体の住民が望む復興を国が支援していかなければ何も変わらないと思いました。講演の中にもあったように、ふるさとを再生するためにはまず、被災者の生活再建が必要であり、住民の要望が国に届くように署名活動など自分にできることから少しでも復興に近づけたらなと思います。



## 感想②

師長室 山田 聡子

3.11から10年、原発事故避難者の今を知る報道は少なく感じます。除染や、増え続ける汚染水、廃炉作業、デブリの廃棄保管先など問題は山積しています。避難者への住宅無償供与提供打ち切りなど、厳しい状況に置かれている報告がありました。住民が元の生活に戻るには何年かかるかの調査で20年以上、と答えた割合が70%以上あるといわれ、避難者はまだ全国に7万人以上。私たち一人ひとりが事故を忘れず原発ゼロを訴え続けることが必要です。



## 感想③

放射線科 沖 将章

4月10日オンライン集会「3.11原発事故から10年、原発ゼロと福島のことを考える」に参加しました。職業上放射線を扱うので原発事故に対しては複雑な感情になります。「正しい科学を正しく使う放射線従事者になるように。」学生時代に技師学校長が教えてくれました。それができない原発事故はその影響が全てに及びます。故郷を失った人々、漁業や地場産業で辛い思いをされる人々。10年たっても産業は18%ほどしか回復せず避難者の数も正確には分からないそうです。避難者数を把握するシステムがそもそもこの国には無いことにも驚きました。

原発で笑った人、泣いた人がいますが現実には昔の様には絶対戻らないということ。放射能には半減期があり種類で異なりますが福島の放射性、毒性が消失するには60年から300年かかります。今まさに海洋放出される処理水の問題が取り上げられていますが海や自然、魚にとっては大迷惑な話です。人間は残念です。不正確な情報、情報を発表しない体質では未来はますます不安です。「福島は終わっていない、福島を繰り返してはならないだから福島を忘れてはいけない。」とリレートークで強いメッセージを感じました。

# さかき診療所リニューアルオープン



3月22日リニューアルオープンいたしました。同一敷地内で住所等の変更はありませんが、平屋から2階建てになりました。1階は診療スペース、2階はバックヤード（職員の休憩室、会議室等）となります。今までの「診療所は待合室が狭い」「感染疑い患者と一般患者の導線が分かれにくい」「今時トイレが男女共用」等、さまざまなお意見をいただいていたいましたが、スペースや経営的な事情から実現することが困難でした。しかし可能な限り地域のみなさまのご要望に応えた、診療所建設ができたと思います。

待合室を広く取り、今までなかった「サロン」を設置しました。コロナ禍で友の会活動が出来なかったことがあります。サロンができたことにより、



地域との交流をより深めることができるとは思いません。

また感染対策という観点から「多目的室（隔離室）」も新たに設置しました。発熱者等感染の疑いがある患者は別入口から直接多目的室に入り、一般の方と導線を分けました。今まで発熱患者は医療機関へ紹介していましたが、対応マニュアルの作成、感染対策の徹底を行いながら、受入れの準備を行っているところなのです。

日当たりも良く、待合室天井は自慢の「吹き抜け」となっており、明るく温かみのある診療所に生まれ変わっています。

内覧会はコロナ禍ということもあり中止となりましたが、見学は受付しております。（事前予約になります。）ぜひ遊びに来てください。

## 研修医ニュース



時が経つのは速いもので、令和も3年目になりました。米の山病院の研修医も日進月歩の成長で、シミュレータ（人形）に対してきこちなかった先生たち、1年が経ち、患者さんの様子をしっかりと見て声をかけながら、時には背中をさすりながら診察をするまでになりました。米の山病院と関わってくださる皆様のおかげです。ありがとうございます。

「米の山病院に帰って来てね」という温かい患者さん方からのお声を胸に、明日の診療に向けて、日夜勉強しております。教育は環境が大それたと言われますが、米の山病院だからこそ、地域の皆様や全職員が指導者として研修に携わることが出来ます。引き続き、研修医へのご指導、応援をよろしくお願い申し上げます。

医局事務課 研修担当 河本里美

# 簡単でおいしい 鶏チャーシュー



材 料 <4人分>

- ・鶏もも……………2枚
- 生姜……………小さじ1
- こいくち醤油……………大さじ4
- みりん……………大さじ4
- 酒……………大さじ4
- 酢……………大さじ2
- 砂糖……………大さじ2
- 水……………大さじ2

合わせ調味料



栄養科 調理師  
中村 明美

## 作り方

- ①鶏肉は皮を取る。フォークで何ヶ所か穴をあける。
- ②ラップを大きめに広げ、1枚の鶏肉を丸めるように包む。はじをキャンディの様にねじり密封する。タコ糸でぐるぐるまく。計2つできます。
- ③おおきめの鍋にたっぷりの水を沸騰させる。沸騰したら鶏肉をいれる。火は鶏肉が踊らないくらい弱火にする。そのまま30分くらい煮る。
- ④小鍋に合わせ調味料をいれて、沸騰させる。そのまま冷ます。
- ⑤ジップロックの中に④と③をいれ冷蔵庫で一晩つけこむ。(鶏肉に火が通っているか確認したい場合は半分に切っても大丈夫です)

- ・ラップ
- ・ジップロック
- ・あればタコ糸

## ワンポイントアドバイス

- ・鶏肉は丸めなくてもそのままでも大丈夫です。しかしラップにはしっかり包みましょう。
- ・ジップロックが無い場合はポリ袋でもOK。深めの器に入れて時々、上下ひっくり返してください。



## クイズ 頭の体操

### 問題

あるなしクイズです。

※ヒント：単語の後ろに何かがつきます。

ある

昭和  
みどり  
こども

なし

令和  
赤  
大人

No.102 (1月1日号)の答えはスウェーデンでした。

ご応募ありがとうございました。

当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### 応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAXでも可。〆切は2021年6月10日。

機関紙や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

## 読者の声

☆今回も新しい知識をいただきました。「ユマニチュード」「人間らしさ」という語でした。私も講義受けたかったな!!

☆家族みんなで考えたけど難しかったです。



皆様からのお便り  
ありがとうございました。

## 休日当番医のお知らせ

(9:00~18:00)

6月27日

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>  
または QRコードからどうぞ